



**急** 速に進むわが国の少子高齢社会において、充実した医療の実現が喫緊の課題であることは誰もがうなずくところだろう。

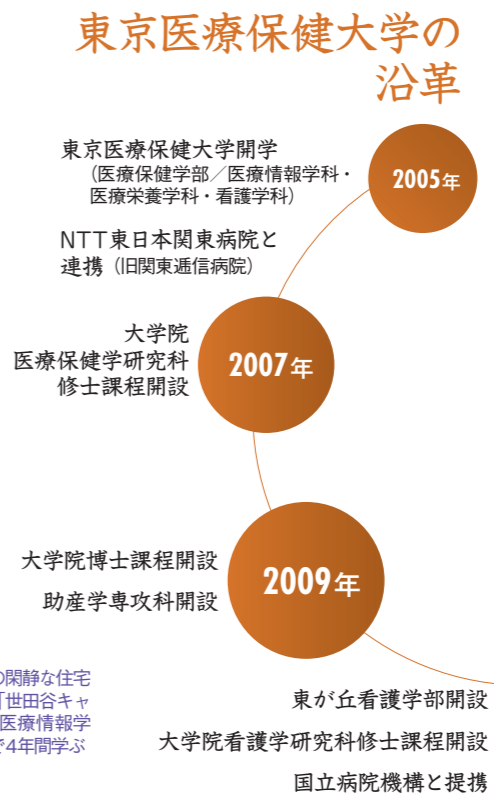
現代の医療の現場では、治療やケアはさまざまなスタッフが専門性を生かして協働する「チーム医療」が主流になっている。東京医療保健大学の医療情報学科では、このチーム医療を担える能力を育成し、多様なニーズに対応できる知識と技術を持つ人材を育てることを目標としている。



東京医療保健大学  
医療保健学部 医療情報学科長  
大久保憲教授(外科医師)

# 高度化する「チーム医療」の現場に求められる医療情報のスペシャリストを育成する

2005年に開学した東京医療保健大学・医療保健学部は、「医療情報学科」「医療栄養学科」「看護学科」の3学科を擁する。同学部が目指しているのは、高度化するチーム医療を担う医療分野のスペシャリスト。独自のカリキュラムと豊富な実習を通して、付加価値の高い人材を育成する。特に医療情報の分野は社会的なニーズが高く、きめの細かいサポートもあつて高い就職率を誇っている。



つたばかりで、電子カルテの普及は全体の約2割程度にすぎません。医療業界は今後、数少ない成長の見込める産業であり、なかでも医療情報はまだ手のついていない部分が多く、社会的なニーズは高まっています。医療情報管理の先進国である米国では、平均よりかなり速い成長が見込める職業として位置づけられており、2018年までに約20%の成長が見込めるといわれています。日本では、少子高齢化が最も進む25年までに、ヘルスケア産業の市場規模は現在の1.5倍になる



世田谷区の閑静な住宅街にある「世田谷キャンパス」。医療情報学科はここで4年間学ぶ

## 社会的なニーズが高い医療情報の専門家

たとえば「診療情報管理士」。ひとりでいえば、医療と情報の知識を持つエキスパートのこと。病院では診療情報管理業務や情報管理技術を、企業では医療情報システムや医療機器の企画・開発・営業の実験を学んでゆく。「たとえばゼミのテーマでは、病院内のインシデント・レポート(医療現場の日常で起こるひやり)とした経験の報告書」を有効に活用する管理システムを試作するなど、現場実習を経験したからこそ発想できるものが多く、ここで培われた実践的な、統合力、は就職後も大きな力になっていきます(大久保学科長)。

病院では診療情報管理業務や情報管理技術を、企業では医療情報システムや医療機器の企画・開発・営業の実験を学んでゆく。「たとえばゼミのテーマでは、病院内のインシデント・レポート(医療現場の日常で起こるひやり)とした経験の報告書」を有効に活用する管理システムを試作するなど、現場実習を経験したからこそ発想できるものが多く、ここで培われた実践的な、統合力、は就職後も大きな力になっていきます(大久保学科長)。



授業では、医学や医療の基礎となる生体情報について、座学だけでなく実験やデータの解析も行う

## 少人数のゼミと現場実習で実践力を養う

医療情報学科のカリキュラムの特徴は、少人数のゼミで、きめの細かい指導を行いながら、現場に即した医療情報を学ぶことに重点を置いている。

1、2年次は「体の仕組みと働き」「臨床医学」などの医学の基礎や、「プログラミング」「データベース」などの情報システムの基礎を学び、3年次からは現場実習が必修科目となり、

医療情報、医療栄養、看護の3学科が枠を



「医療情報技師」「診療情報管理士」など、在学中の専門資格取得を積極的に支援している

## 手厚いサポートと高い就職率

医療情報学科の就職率は、92.8%(10年度卒業生)と高く、就職先は病院やITシステム開発企業、医薬品・医療機器メーカー、福祉施設等と幅広い。「ニーズのあるところに学生を送り出す」ための一人ひとりに

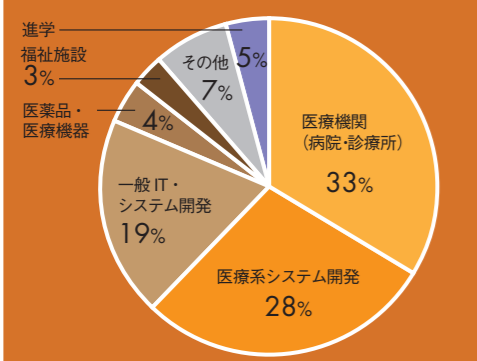
目を向けたサポートが同校の特徴でもある。

入学時には文系・理系どちらにも対応できるよう、選択科目として基礎的な復習科目を準備。学費は私立大学の文系と同程度で、医療系・医学系が学べる。同学での4年間で、学生の成長がめざましく、就職・進学先の質・量共によとの評価もある。「医療に興味を持ち、社会に貢献したいというマインドを持つ、素直でまじめな学生が多く、退学者が少なくない」(大久保学科長)という。

東日本大震災では、診療情報を電子化することの重要性が浮き彫りになった。多くの病院が津波などでカルテを失い、有効な治療ができず多くの命が失われたからだ。その意味でも全国的に医療情報の一元化・電子化は急務であり、今後医療情報のスペシャリストの存在価値はさらに高まること予想される。

## 医療情報学科の就職・進学状況と実績

2010年度卒業生・就職率 **92.8%**



### 主な就職先一覧

第1~第3期生(2008~10年度)実績

医療機関(病院・診療所)	医療系システム開発
IMSグループ	アビウス
NTT東日本関東病院	NECソフト
海老名総合病院	NJC日本事務器
小千谷総合病院	NTTアイティ
榊原記念病院	NTTコムウェア
順天堂大学	NTTデータ
聖マリアンナ医科大学	オリンパスソフトウェアテクノロジー
千葉メディカルセンター	シーメンス亀田医療情報システム
東海大学	第一生命情報システム
東京医科大学	東芝メディアカルシステムズ
東京都保健医療公社	ニッセイ情報テクノロジー
戸田中央医療グループ	日立システムズ
東埼玉総合病院	日立メディカルコンピュータ
	富士ソフト
	ランドコンピュータ
医薬品・医療機器	一般IT・システム開発
サクラ精機	伊藤忠テクノソリューションズ
サクラファインテックジャパン	NECフィールディング
シミック	NTTデータシステムズ
テルモ	キヤノンITソリューションズ
東京サラヤ	JR東日本情報システム
日機装	損保ジャパンシステムソリューション
フクダ電子	日立INSソフトウェア
扶桑薬品工業	富士通エフサス
ホギメディカル	
吉田製薬	
進学	
お茶の水女子大学大学院	
慶應義塾大学大学院	

(五十音順)

**CAMPUS GUIDE**

**東京医療保健大学**

医療保健学部  
医療情報学科 医療栄養学科  
看護学科

東が丘看護学部  
看護学科

東京医療保健大学 世田谷キャンパス  
〒154-8568  
東京都世田谷区世田谷3-11-13  
TEL 03-5779-5071 (入試広報部)  
http://thcu.ac.jp/